一、停電したら大衆デモで東電本社へ押しかける事を各分会の兄弟達が一斉に申合した

戦斗分子を帰郷させる會社の陰謀

全従業員の堅い結束を怖れた会社は各職場に勇敢な斗士がゐると三千の首を思ふ様に切れないので親や兄弟が病気だと言はせて帰郷させようとして来た見よ目黒争議で二八日の拘留になって来た吾が関電の伊藤君が留置場に長くゐたので御気になった　それを見た倉庫係長は金を呉れ郷里へかへらうとした其他吉組合の勇敢な斗士を続々何等かの理由で帰郷させようと夢中になって策動しくゐる之こそ大職首を前にして会社の常套手段なのだ　この手に乗るな

お互に誓め合へ万難を排して　一路斗争へ

吾が関電の組織ぐんぐん進む

あとをついで挙げられる分会発会式

先きに山梨に千葉にどしく組合加入準備会成立を報じたが其後長岡、茨城、栃木、群馬、静岡、東京と毎日加入書が本部に山と積まれる有様である

殊に廿日には横浜第二分会の発会式が川崎クラブで盛大に挙行されたが発会式の議事は　一、斗ヰ基金積立　一、警備隊編成　一、職首絶対反対等全く争議気分があふれ祝詞祝電はことごとくつかうこうつへこハつかイッ

こうう風」等の如何に東電全般に亘つて会社の二　後の[illegible]斗ヰが[illegible]に[illegible]しくゐるかが伺はれる　廿五日には[illegible]、[illegible]、[illegible]会式が[illegible]会社は[illegible]な[illegible]斗気分であふれるであらう

京浜荏原戸塚各方面に半数続出

七月十八日川崎で一変起所ではクサリ[illegible]がパイプの[illegible]が固く[illegible]にしめられ実振計が急に八度も昇った　十九日の午後五時には京浜線全線が一時間の大停電で電車が立往生した　動因はよいどこどこ一導子の破壊であった

同夜十二時頃殺人重役本間の牛込科断ナ一番地の私宅へ心ない悪ジャレ[illegible]社の暴虐と圧迫は実際的打撃損失となって刻々に報ぜられるのだ　せっかく[illegible]電から出て居る電灯線に[illegible]が起り十分間戸塚一帯が真暗になった[illegible]原地方一帯の電圧が十五ボルトも降下した　主任の研究者くなって[illegible]従業員かつ「ヒタバタするな」の気勢にフルへたった　其の決起に[illegible]ハニ回も電灯が消されてはつき消されてはつきした　[illegible]目分らない　実際の打撃と損失が起ることを会社は一番怖れてゐるのだ

全従業員は起て　時機は今だ

――……――

荏原地区の研究會入パイを威圧す